

SHINKIN BANK

BANK

BANK

SHINKIN BAN

KIN BANK

SHINKIN BANK

IN BANK

SHI

DATE

だてしん

## 半期ディスクロージャー誌

平成23年4月1日～9月30日

### 平成23年度上半期トピックス

- ☒ 4月☒「リフォームプランキャンペーン」実施
- ☒ 6月☒第62回通常総代会開催
- ☒ 8月～9月☒「クールビズ」実施
- ☒ 7月☒「だてしん傷害保険付定期積金」発売
  - ☒ スーパー定期預金
  - ☒ 「プレミアムキャンペーン2」発売
- ☒ 9月☒献血実施

DATE

伊達信用金庫

# だてしん 半期ディスクロージャー

当金庫の平成23年9月期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

## 預金人格別残高

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成23年3月末	増減額
個人預金	129,914	132,359	△ 2,445
法人預金	18,047	17,389	658
公金預金	13,924	8,476	5,448
金融機関預金	172	167	5
合計	162,058	158,392	3,666

## 貸出金業種別残高

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成23年3月末	増減額
製造業	1,925	1,969	△ 44
農業、林業	50	57	△ 7
漁業	25	25	0
鉱業、採石業、砂利採取業	20	15	5
建設業	5,844	6,090	△ 246
電気・ガス・熱供給・水道業	—	1	△ 1
情報通信業	51	55	△ 4
運輸業、郵便業	2,116	2,223	△ 107
卸売業、小売業	3,641	3,904	△ 263
金融業、保険業	1,939	2,039	△ 100
不動産業	9,830	10,315	△ 485
物品賃貸業	162	193	△ 31
学術研究、専門・技術サービス業	71	72	△ 1
宿泊業	1,897	1,833	64
飲食業	826	868	△ 42
生活関連サービス業、娯楽業	1,421	1,477	△ 56
教育、学習支援業	13	15	△ 2
医療、福祉	1,776	2,064	△ 288
その他のサービス	2,185	2,238	△ 53
小計	33,800	35,460	△ 1,660
地方公共団体	17,436	15,774	1,662
個人	15,072	15,612	△ 540
合計	66,308	66,847	△ 539

## 損益の状況

(単位:百万円)

	平成23年9月期	平成23年3月期
業務純益	415	711
経常利益[又は経常損失(△)]	557	211
当期純利益[又は当期純損失(△)]	548	214

# 金融再生法開示債権および同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区 分		開示残高 (A)	保全金額 (B)	担保・保証等による回収見込額 (C)	貸倒引当金 (D)	保全率(%)	引当率(%)
						(B)/(A)	(D)/((A)-(C))
金融再生法上の不良債権	平成23年3月	7,322	6,833	4,161	2,672	93.32	84.54
	平成23年9月	7,045	6,401	3,761	2,639	90.86	80.39
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成23年3月	3,412	3,412	1,977	1,434	100.00	100.00
	平成23年9月	3,291	3,291	1,724	1,567	100.00	100.00
危険債権	平成23年3月	3,764	3,300	2,094	1,205	87.67	72.21
	平成23年9月	3,619	2,999	1,953	1,046	82.86	62.77
要管理債権	平成23年3月	145	120	88	31	83.14	56.56
	平成23年9月	134	111	84	26	82.46	53.07
正常債権	平成23年3月	60,220					
	平成23年9月	59,980					
合 計	平成23年3月	67,543					
	平成23年9月	67,026					

(注)

平成23年9月末は、平成23年3月末時点における債務者区分を変更すべき客観的な事実があった先などについて、簡易な方法により自己査定を実施し、金融再生法に基づき各債権ごとに分類しております。

## 有価証券の時価情報

### (1) 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	平成23年9月末			平成23年3月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	8,699	8,873	173	8,699	8,897	198
	地 方 債	19,019	19,745	725	14,026	14,428	401
	社 債	3,403	3,440	37	3,903	3,950	46
	そ の 他	3,214	3,314	99	1,216	1,229	13
	小 計	34,337	35,374	1,037	27,845	28,505	660
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	698	696	△1	3,400	3,347	△53
	社 債	300	280	△19	800	785	△14
	そ の 他	7,744	6,647	△1,096	9,911	8,569	△1,342
	小 計	8,742	7,624	△1,118	14,112	12,701	△1,411
合 計	43,079	42,998	△81	41,958	41,207	△751	

(注) 1. 貸借対照表計上額は、取得原価または償却原価です。2. 時価は、上半期末前一週間の市場価格の平均に基づいて算定された額により計上したものです。3. 上記の「その他」は、外国証券等です。4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### (2) その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成23年9月末			平成23年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	1,086	1,060	26	1,071	1,055	15
	国 債	17	17	0	14	14	0
	地 方 債	471	469	1	492	491	1
	社 債	597	573	24	563	550	13
	そ の 他	2,633	1,806	827	2,465	1,906	558
小 計	3,720	2,866	853	3,536	2,962	574	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	9	9	△0	79	80	△0
	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	9	9	△0	79	80	△0
	そ の 他	2,711	3,069	△358	2,697	3,050	△352
小 計	2,721	3,079	△358	2,777	3,131	△353	
合 計	6,441	5,946	495	6,314	6,093	220	

### (3) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成23年3月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社株式	10	10
非上場株式	11	11
組合出資金	361	480
合 計	382	501

(注) 1. 貸借対照表計上額は、上半期末前一週間の市場価格の平均に基づいて算定された額により計上したものです。2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

## 自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	平成23年9月期	平成23年3月期
(自 己 資 本)☒		
出資金	3,066	3,072
うち非累積的永久優先出資	2,375	2,375
資本準備金	108	108
利益準備金	21	21
特別積立金	—	—
次期繰越金	633	84
処分未済持分(△)	—	4
その他有価証券の評価差損(△)	—	—
基本的項目 計(A)	3,829	3,282
一般貸倒引当金	690	771
補完的項目不算入額(△)	363	432
補完的項目 計(B)	327	339
自己資本総額[(A)+(B)](C)	4,157	3,621
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	710	710
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	500	500
基本的項目からの控除分を除く、自己資本控除とされる証券化エクスポージャー及び信用補完機能を持つ/Oストリップス(告示第247条を準用する場合を含む。)	346	74
控除項目不算入額(△)	710	710
控除項目 計(D)	346	74
自己資本額[(C)-(D)](E)	3,810	3,547
(リスク・アセット等)		
資産(オン・バランス)項目	46,787	48,567
オフ・バランス取引等項目	651	664
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	5,023	5,023
リスク・アセット等 計(F)	52,463	54,255
単体Tier1比率 (A)/(F)	7.29%	6.04%
単体自己資本比率 (E)/(F)	7.26%	6.53%

(注) 本表は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準」に係る算式に基づき算出しております。9月末の自己資本比率の計算につきましては、一部簡易に計算しておりますので、概算値です。☒

## 金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

運用勘定			調達勘定		
区 分	金利リスク量		区 分	金利リスク量	
	平成23年9月末	平成23年3月末		平成23年9月末	平成23年3月末
貸 出 金	861	1,758	定期性預金 ☒ △☒	824	☒ △☒ 1,124
有 価 証 券 等	613	1,271	要 求 払 預 金	☒ △☒ 471	☒ △☒ 658
預 け 金	521	626	そ の 他	☒ ☒ —	☒ ☒ —
コ ー ル ロ ー ン 等	—	—	調 達 勘 定 合 計	☒ △ ☒ 1,295	☒ △ ☒ 1,782
そ の 他	—	—			
運 用 勘 定 合 計	1,996	3,656			
銀 行 勘 定 の 金 利 リ ス ク	701	1,873			

(注) 1. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫では、金利ショックを99%タイル又は1%タイル値として銀行勘定の金利リスクを算出しております。☒

2. 要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等の額の50%相当額を2.5年としてリスク量を算出しています。☒